

H26－No.8

図書館だより

平成 26 年 10 月 24 日発行
三刀屋高校図書館

読書の秋、本番！

「地域産業研究」の実習や研修旅行を終えて、一息。期間中にいろんなことを経験し、多くのことを感じ、考えたとおもいます。その経験や知識を深めるために、関連する職業のことや課題になっている事についての本を読んでみませんか？きっと記憶に残る一冊になるでしょう。図書館には職業に関する本がたくさんあり、コーナーにしています。そして職業について具体的に書いてある小説を集めた紙面右の「紙上お仕事体験」（その1は前号）も参考にしてくださいね。

さて、来週の月曜日から読書週間が始まります。今年の標語のように、ページをめくり、本の世界をめぐって、本に親しんでもらえとうれしいです。

期間中に古雑誌市と図書委員会イベントをする予定です。古雑誌市の日時やイベントの内容は来週紹介しますので、お楽しみに！

保健室・安食先生のオススメ本

『ひとりじゃない：自分の心とからだを大切にすると？』
遠見才希子 著 ディスカヴァー

367

エ

えんみちゃん!!!

図書館で偶然見つけたこの本を一気に読んでしまいました。

性感染症や大切な命の話……ここで文章にすると固く感じてしまう人もいると思いますが、それだけではなく、高校生よりちょっとだけお姉さんなえんみちゃんの周り実際にあった話がざっくばらんに書いてあります。そして、たぶん皆さんが知りたいことも書いてあると思います。

男の子は女の子を大切にしていますか？女の子は大切にされてるな～と感じますか？そんな気持ちになれたらとっても Happy。Happy な関係であることを祈ります。ぜひ読んでみてね☆☆



今年も**読書週間**がやってきた！
10月27日～11月9日
今年の標語は
「めくる めぐる 本の世界」

読書週間は戦後まもない1947年に「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館、新聞や放送のマスコミも一緒にになり、アメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならって始まった。翌年から今の期間（文化の日をはさんで2週間）となり、講演会や本に関する展示会などイベントが行われるようになった。現在、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界でも特に「本を読む国民」の国となった。

☆自然を相手にする仕事

『**神去なあなあ日常**』三浦しをん 著

高校卒業と同時に横浜で生まれ育った平野勇気が放り込まれたのは三重県の山奥にある神去村。林業に従事し、自然を相手に生きてきた人々と出会う。人手不足が深刻な林業界の様子や村での暮らしも伝わる物語。

『**幸せの条件**』 誉田哲也 著

バイオエタノール用のコメを作る農家を探せと社長命令を受けた24歳の梢は、長野の農村へ。しかし、簡単に引き受けてくれる農家はなかった。そこで農業に取り組むことになり、農業知識ゼロの梢がみた農家の現実と震災とエネルギー問題に挑む物語。

『**限界集落株式会社**』黒野伸一 著

高齢化と過疎化が進む限界集落の止村にちょっと休息のため訪れた主人公が、村人と交流するうちに集落の農業経営を請け負う。農業や地域が抱える問題に知恵を出し、汗を流し、成功や失敗を繰り返すことで、村人や関わった人たちに生きがいが見つかっていく。起業や農業、経営などの苦勞が具体的に描かれている。それぞれの職業の面白さがわかるころがおすすめ。



「紙上お仕事体験」特集 その2

いろんな職業が舞台の小説を読んで「仕事」を体験しよう！

☆おいしいものにかかわる仕事

『**食堂かたつむり**』小川糸 著

恋と家財道具一式と声を失った倫子は、ふるさとに戻り、メニューのない、一日一組だけの食堂を始めた。迎えるお客さんのために作る料理には命と祈りが込められている。食べること、いただく命のこと料理のこと、教えてくれる物語。

『**しゃべれども しゃべれども**』

佐藤多佳子 著

26歳の落語家・今昔亭三つ葉。前座よりちょい上の二つ目。頑固で気が短く、女の気持ちに疎いこの男に落語指南を頼む物好きが現れた。人前で上がってしまう人やいじめられている小学生など三つ葉や師匠と落語をとおして、自信を取り戻していく様子と噺家の日常の物語。

『**配達あかずきん**』

成風堂書店事件メモ』

大崎 梢 著

書店を舞台にお客さんから投げかけられる本に関する謎を書店員たちが解いていく。書店員の日上がわかる物語。

『**書店ガール**』 碧野圭 著

大手チェーン書店の1号店を舞台に、正社員、契約社員、学生アルバイトなど、スタッフみんなが閉店の危機を乗り越えるために奮闘する姿を描く。書店員の日常業務や書店側の工夫がわかる物語。

『**雪と珊瑚**』 梨木香歩 著

生まれたばかりの娘を育てながら、懸命に生きようとする珊瑚。働くために娘をあずかってくれる人を探していて出会った年配の女性・くら。彼女との出会いとパン屋のバイトでの出来事がきっかけで食べ物の店をつくることに。お客さんを思う気持ちと店を作る苦勞と喜びを教えてくれる物語。

☆言葉を大切にすること

『**舟を編む**』 三浦しをん 著

国語辞典編集部を舞台に、普段何気なく使っている辞書ができるまでの工程や編集スタッフの言葉一つに対する想いが伝わる物語。日本語の奥深さに気づかせてくれる一冊。

『**クローバー・レイン**』大崎梢 著

過去の人とされていた作家の素晴らしい原稿を手にした若手文芸編集者が、いくつかのハードルを越え、本を届けるために奔走する。あちこちに熱い思いがほとばしる、小説が届くまでの物語。

『**れんげ野原のまんなかで**』

森谷明子 著

ススキ野原の真ん中に立つ秋葉図書館に新人司書が配属された。立地のセイカ利用者もまばらで暇だが、図書館を訪れる人々はささやかな謎を投げかけていく。頼もしい先輩司書の助けを借り、謎を解いていく。調べることが楽しくなる物語。

紹介した本は展示コーナーにあります。貸出もOK！です。

『**和菓子のアン**』

坂木 司 著

将来何をしたいのかわからないまま高校を卒業した杏子。アルバイト募集を見て、デパ地下の和菓子屋へ。接客の面白さ、和菓子一つに込められたいろんな人の思いに触れ、成長していく姿を描いた物語。

『**本日はお日柄もよく**』

原田マハ 著

幼なじみの結婚式に出席したこと葉。ありきたりなスピーチに退屈していた。そのなかにみんなを惹きつけるスピーチをする人がいた。スピーチライターの久遠久美との出会いがこと葉の人生を変える。スピーチライターという仕事と心に届くスピーチの物語。

☆本とかかわる仕事

『**おさがしの本は**』

門井慶喜 著

図書館で調べものの相談を受けるレファレンス・カウンター担当の図書館員を中心に受けた相談を司書がどのように本を探し、解決していくのか、がよくわかる物語。

『**ビブリオ古書堂事件帖**』

三上延 著

古書とともに持ち込まれた謎を店主が解決していく。古書業界のことがよくわかる物語。

0 総記

031-ク ギネス世界記録 2015
クレイグ・グレンディ編
角川アスキー総合研究所

●049-ピ ヒンシュクの達人

ビートたけし著 小学館新書
ヒヤヒヤものの毒舌をマシンガン
のように繰り出しつつも、その言葉
は常に人々をうなずかせるビート
たけしが、自らの死生観や芸人論を交
えながら「ヒンシュクの買い方」の
極意を語る。

14 心理学

●146-オ 心を商品化する社会 「心のケア」の危うさを問う

小沢牧子著 中島浩籌著
洋泉社y新書
現代人は心に関する悩みが本当に
多いのだろうか？「癒し」「心のケア」
という言葉が流行する背景には何が
あるのか？心理主義の流行と社会へ
の浸透の問題性を語る。

304 社会エッセイ

●304-ア バカだけど社会のことを 考えてみた

雨宮処凛著 青土社
これまで「生きづらさ」や格差・
貧困問題などを取材し、自らも活動
してきた著者による「民主主義の地
殻変動」の記録。3・11以降、考え
てきたことを綴る。

●304-オ 僕らはいつまで「ダメ出し 社会」を続けるのか

荻上チキ著 幻冬舎新書
誰かを採点し続けるのではなく、
自ら当事者として社会を変えていく
ための実効性のある方法を提言。

31 政治 319 国際問題

●311-ナ 今こそアレントを読み 直す

仲正昌樹著 講談社新書
20世紀を代表する政治哲学者が、
なぜ今再評価されるのか？人間の本
性や社会の公共性を研究していた彼

女の本質的な思考の軌跡をたどり直
し、私たちが今生きる社会を見つめ
直す。

●319-フ 戦争の条件

藤原帰一著 集英社新書
平和を壊すのも平和を保つのも軍
隊であるという国際政治の逆説のな
かで、私たちはいかに判断し、行動
すべきなのか？戦争の条件を考え抜
くことで、逆説的に平和の条件に至
る道を模索した、国際政治学の入門
書。

●319-マ 平和主義とは何か 政治哲学で考える戦争と平和

松元雅和著 中公新書
いま目指すべき「平和主義」とは？
戦争と平和について明晰に考えるた
め、「愛する人が襲われても無抵抗で
よいのか」「正しい戦争もあるはず」
といった批判に丁寧に答え、説得力
のある平和主義の姿を探る。

経済

●335-コ ブラック企業 日本を食いつぶす妖怪

今野晴貴著 文春新書
違法な労働条件で若者を働かせ使
いつぶす「ブラック企業」。1500件
にも及ぶ労働相談を受け付けてきた
NPO法人「POSSE」の代表が、そ
の実態を解説し、労働者、そして日
本社会がこの問題にどう対応すべき
かを論じる。

36 社会学

●361-ア 弱者の居場所がない 社会 貧困・格差と社会的包摂

阿部彩著 講談社新書
「つながり」「役割」「居場所」か
ら考える、貧困問題の新しい入門書。
「社会的排除」に相對する概念で、
社会政策の基本的な理念となる考え
方「社会的包摂」について解説。

●361-ウ 内山節のローカリズム原 論 新しい共同体をデザインする

内山節著 農山漁村文化協会

「個としての主体」という幻想か
ら自らを解き放つ新しい思想、行動
原理をもたなければ、未来を語ること
はできない。東日本大震災の復興
に、近代以降の時代を支配した思想
やシステムを解体していくきっかけ
を探る講義録。

青少年問題

●367-ア「若者」とは誰か アイデンティティの 30 年

浅野智彦著 河出書房新社
若者たちは自らのアイデンティテ
ィをいかに探求し提示してきたか、
大人たちはそれをいかに捉え語ろう
としてきたか。若者のリアルと大人の
視線とが絡み合いながら変化して
きた30年の軌跡を語る。

福祉

●369-サ 「弱者救済」の幻影 福祉に構造改革を

桜田淳著 春秋社
「弱者」には手厚い保護を。この
善意あふれる施行が「弱者」を縛り
付け、社会の中で然るべき役割を果
たす妨げとなってきた。その呪縛が
どんなものであり、呪縛をとくには
どうすればいいのかを論じ、「福祉」
の再構築を図る。

37 教育

●375-コ キャリア教育のウソ

児美川孝一郎著 筑摩書房
現在、学校や大学において展開さ
れているキャリア教育はどのような
ものなのか。そのどこに問題がある
のか。若い人たちはキャリア教育と
どう向き合えばよいのか。常識に振
り回されずに自らの進路をつかみと
る方法を教える。

●377-ミ 高校・大学から仕事へ のトランジション 変容する能力・ア イデンティティと教育

溝上慎一編 松下佳代編
ナカニシヤ出版
今日の若者は困難にさらされてい

る。学校から仕事への移行の現状と
課題を、アイデンティティ、能力、
コミュニティといった多様な観点か
ら検討。

46 生物 49 医学

♥462-フ ガラパゴスに木を植える 世界自然遺産第一号を守れ!

藤原幸一写真・文 岩崎書店
自然破壊が急速に進む、世界自然
遺産第1号のガラパゴス諸島。20
年以上現地に通い、2007年から原
生林復活の植林を行っている著者が、
その植林活動や、ガラパゴスに暮ら
す生きものたちを紹介。

●498-ス 崩壊する日本の医療

鈴木厚著 秀和システム
医療はサービス業ではなく安全保
障。だが、このままでは国民の生命
が危ない。日本の医療の現実を明ら
かにし、医療改革の本質とは何かを
解説。

498-ワ おかあさんのための危な い加工食品のはなし

渡辺雄二監修 てらいまきマンガ&イ
ラスト 三オブックス
こどものためにどれを買う？ポテ
トチップス、炭酸飲料、冷凍ピザ、
レトルトハンバーグなど、具体的な
食品を挙げて、それらに含まれる添
加物、選ぶポイント、NG商品の名前
を紹介。

農業

♥616-ヤ 田んぼの不思議

安室知著 小峰書店
田んぼでは、コメも、魚も、水鳥
もとれる。畦ではダイズやアズキ、
冬の田んぼではムギも作れる。雑草
でさえ、牛馬の大切な餌。田んぼの
豊かな生態系と、それを利用する知
恵を紹介する。

78 スポーツ

●780-ウ 街場の五輪論

内田樹著 小田嶋隆著
平川克美著 朝日新聞出版

五輪東京招致に大いに異議あり！
東京招致で3兆円の経済効果が喧伝
されるが、「被災地はそれどころじゃ
ない」など違和感を持つ人は多い。7
年後を見据えつつ今を直視する五輪。

81 日本語

●816 小論文時事テーマと キーワード

社会科学編 教育・教員養成編 医歯薬獣編 看護医療編

旺文社
各分野の近年の小論文入試の傾向
をふまえて厳選した時事テーマを収
録。

●816-ヒ 小論文これだけ！ 看護超基礎編

樋口裕一著 大原理志著
東洋経済新報社
「小論文の神様」が書いた、究極
の小論文参考書。看護・医療系の学
校を志望する学生向けに、看護師に
向く人のタイプから、看護系の小論
文の特徴、小論文試験に必要な基礎
知識までを解説。

913 日本の小説

♥913-イ 願いながら、祈りながら

乾ルカ著 徳間書店
北の大地の片隅にぼつんとたたす
む中学校の分校には、1年生4人と
3年生1人が学んでいた。ときには
悩み、傷つきながらも成長していく5
人の、青春前期物語。

★913-シ 総理大臣暗殺クラブ

白河三兎著 KADOKAWA
新入生の三重子が立ち上げた謎の
部活「総理大臣暗殺クラブ」。心に闇
を持つ少年少女たちが、部活を通し
て手にしたものとは？明るくて必死
で切ない青春ミステリ。

☆913-ニ 悲業伝

西尾維新著 講談社
強い自意識を抱える13歳の少女
・手袋鵬喜。魔法少女製造課課長
に才能を見出され、チーム「サマー」
に配属されるが、英雄・空々空によ

り、彼女の世界と自己愛は粉々に。
特別な自分に返り咲くために必要な
のは、究極魔法…？

914 日本のエッセイ

●914-ウ 最終講義 生き延びるための六講

内田樹著 技術評論社
超少子化・超高齢化時代を迎えて
日本の進むべき道は？学びのスイッ
チを入れるカギはどこにある？窮地
に追いつめられた状況から生き延び
る知恵とは？いまを生きるための切
実な課題に答える講演録。

●914-オ なつかしい時間

長田弘著 岩波新書
この国の未来にむかって失われて
はいけな大切なものとは。20世紀
の終わりから21世紀へ、そして3・
11へという時代に立ち会いつつ、再
生を求めて、自らの詩とともにNHK
テレビ「視点・論点」で語った17
年の集成。

海外の小説

♥933-ザ ルーシー変奏曲

サラ・ザール著 西本かおる訳
小学館
ピアニストとして英才教育を受け
てきた16歳のルーシーは、コンク
ール会場で突然舞台から立ち去って
しまう。なぜ彼女は弾けなくなった
のか？迷い、家族との葛藤…。少女
が自分らしさをとりもどす心の旅を
描いた成長物語。

♥949-セ カンヴァスの向こう側 少女が見た素顔の画家たち

フィン・セッテホルム著 評論社
リディアはスウェーデンに住む、
絵を描くのが大好きな女の子。美術
館の絵にふれてしまったことから、
絵画の世界に迷い込み…。素顔の巨
匠たちに出会える、名画をめぐる時
空を超えたファンタジー。